

## 旧清水家住宅の沿革

清水家は、江戸時代には町役人を務めた家格で、「米佐」の屋号で米屋を営んでいました。その後、近代に入って医者に転じて屋敷地で診療を行っていましたが、現在は別敷地へ移転しており旧居宅は空き家となっていました。

かつて主屋の背面には、東北隅に増築された二階建ての居室棟、西北には坪庭を介して東西棟の土蔵が建ち、さらにこの土蔵の背後にはもう1棟の土蔵が建っていました。現在、坪庭北の土蔵を除いてこれらの付属屋は取り壊されています。

平成24年、所有者より土地・建物ともに大垣市へ寄贈され、平成26年、文化財として保存するため改修工事が行われました。

|        |           |
|--------|-----------|
| 平成25年度 | 主屋・利便施設設計 |
| 平成26年度 | 主屋・利便施設整備 |
| 平成27年度 | 土蔵・庭等設計   |
| 平成28年度 | 土蔵・庭等整備   |



整備前



### ●鉄道

JR美濃赤坂駅から徒歩5分

### ●バス

JR大垣駅南口1番のりば名阪近鉄バス  
「赤坂丸本前」下車、徒歩1分

### ●自動車

名神高速道路大垣インターチェンジから25分  
東海環状自動車道大垣西インターチェンジから8分

### ご案内

入場料：無料

開館日：土曜日、日曜日及び休日(年末年始を除く)

開館時間：午前9時～午後5時

所在地：〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町2966番地1

### お問い合わせ先

大垣市教育委員会 文化振興課

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2-55

TEL(0584)81-4111, (0584)47-8067

ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp>

平成27年 3日発行

大垣市指定文化財

# 旧清水家住宅

中山道赤坂宿



旧清水家住宅は、赤坂宿のほぼ中央に位置しています。主屋は軒高の低い切妻造り2階建てで、古い商家の建物です。

建造年代は定かではありませんが、享保15年(1730)もしくは安永4年(1775)と伝えられ、構造形式と外観の状況から、これらの伝承に矛盾はないと考えられます。また、坪庭北には明治13年建造の墨書が残る土蔵があります。

赤坂宿内に現存する建造物の中でも最古級の町家遺構であり、様式や技法の観点からも文化財的な価値が高いものとして、大垣市の重要文化財に指定されています。

この建物は、歴史的建造物として保存するとともに、公開し、住民等によるまちづくり活動の拠点施設としても利用しています。

【指定年月日】 平成25年2月21日

【主 屋】 切妻造り  
桁行11.1m、梁間12.2m  
建築面積:136.53㎡

【土 蔵】 土蔵造り 切妻造り  
建築面積:24.76㎡



整備後



主屋 内部



座敷



しとみど  
部戸

跳ね上げて天井や軒下に固定する戸のこと。



おおど  
大戸

潜り戸がついた大きな戸のこと。上に跳ね上げることもできます。

痕跡調査をもとに一部復元しています。